

ふくしまから はじめよう。

福島県

【編集・発行】福島県広報課  
〒960-8670 福島市杉妻町2番 16号  
☎024(521)7014

# ゆめだより

福島県広報誌

## 4月号

2012 No.231

年6回(偶数月)

皆さんのもとにお届けします。



特集

復興元年

# 福島県予算1兆5764億円





# 桜



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

新スローガンが決定しました。  
詳しくは P9 をご覧ください。

ふくしまから はじめよう。ゆめ|だ|よ|り

2012  
No.231

## 4月号

C O N T E N T S

もくじ

ふくしまの宝「桜」	2
特集：復興元年	
福島県予算 1 兆 5764 億円	4
震災の記憶	7
震災関連相談窓口	7
ふくしまの食	8
応援メッセージ	9
スローガン決定	9
ふくしまの今	10
地域ゆめ情報	12
県からのお知らせ	14
施設インフォメーション	15
ゆめクイズ	16

### 【表紙】

屋内の遊び場が県内各地でオープンしています。郡山市の PEP Kids Koriyama は民間企業が建物を無償で提供し、また遊具などの寄付を受け、郡山市が運営する施設です。安心して遊ぶ子どもたちの元気な笑顔がはじけています。

### 募集しています

ゆめだよりでは、県民の皆さんが地元で誇りにしている「宝」を募集しています。「緑」「山」「水(川)」「民芸品、伝統工芸品」「食(伝統食)」「城(城跡)」など、何でも結構です。さまざまな宝の名称・場所などに関して、〒960-8670 県庁広報課・「福島県の宝」係まで情報をお寄せください。

中島の地蔵桜 (二本松市)  
問 二本松市役所東和支所 ☎ 0243-66-2490





1

1. 戸赤の山桜 (下郷町)  
関下郷町観光協会 ☎ 0241-69-1144
2. 米沢の千歳桜 (会津美里町)  
関会津美里町観光協会 ☎ 0242-56-4882
3. 桜と南湖 (白河市)  
関白河観光物産協会 ☎ 0248-22-1147
4. 馬陵公園の桜 (相馬市)  
関相馬市商工観光課 ☎ 0244-37-2153
5. 鶴ヶ城の花筏 (会津若松市)  
関会津若松市観光公社 ☎ 0242-27-4005



2



## ふくしまの宝

県内各地で見事に咲き乱れる  
 桜花の色香に、今年も酔いし  
 れてみよう。



3



4

が今に残されていますが、それは、どの地にも人々の桜に対する深い想いがあり、代々桜木をいたわり、育て、養生する人が絶えなかつたからではないでしょうか。  
 今年も優美に、かれんに、そしてけなげに咲く各地の桜を楽しんでみては。



5

東北の桜は、長い冬の後には待ちわびていた春が訪れ、その開花からまたすべてがスタートする、という「はじまりの象徴」の花でもあります。福島には「種蒔き桜」と呼ばれ、その開花が農作業の目安とされる桜も各地にあります。そこには新しいはじまりの予感があふれています。  
 福島県内各地にも桜の名所があり、樹齢何百年という名木

# 福島県予算

# 1兆5764億円

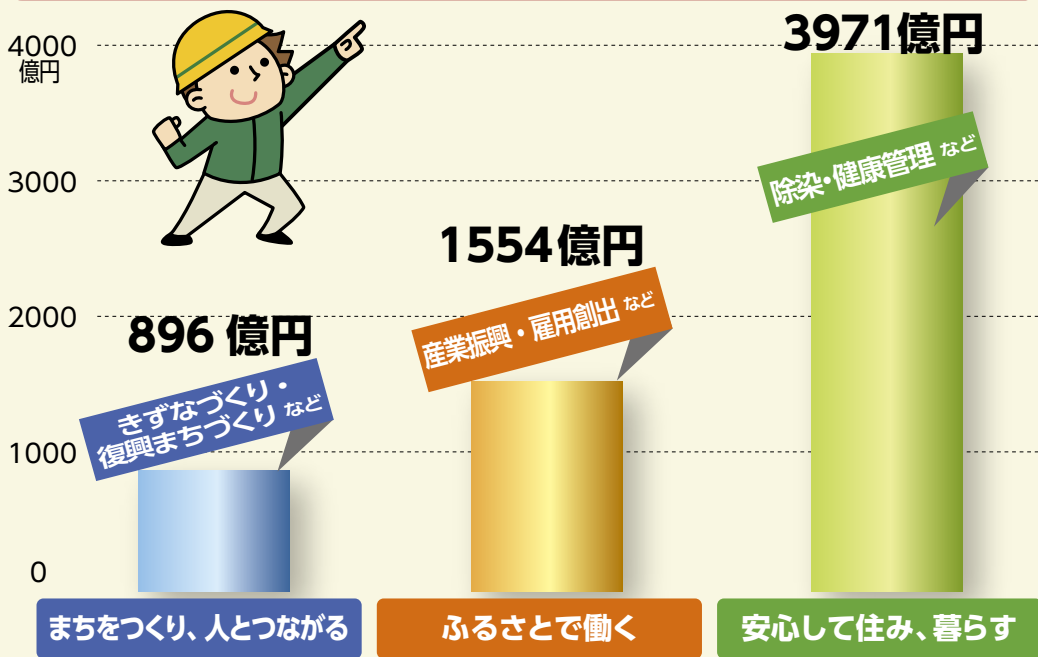
復興を最優先、  
過去最高

## 復興元年



平成24年度予算は「復興元年」として大震災からの復興と原子力災害からの再生を図る大切な予算です。総額は1兆5764億円で過去最高、そのほぼ半分にあたる7255億円が震災・原子力災害対応に充てられます。昨年12月に策定した「福島県復興計画」の実現に向け、復興・再生に係る取り組みを最優先に予算を配分しています。

### 県復興計画重点プロジェクト 6421億円



## 県復興計画重点プロジェクトに優先配分

今年度の予算は除染と健康管理、産業振興、雇用創出、きずなづくり、復興まちづくりなどを中心とした県復興計画の重点プロジェクトを、3つの柱に位置づけ予算を優先的に配分しました。総額は6421億円です。

復興計画を推進するため、重点プロジェクトの3つの柱に計6421億円の予算を配分しました。

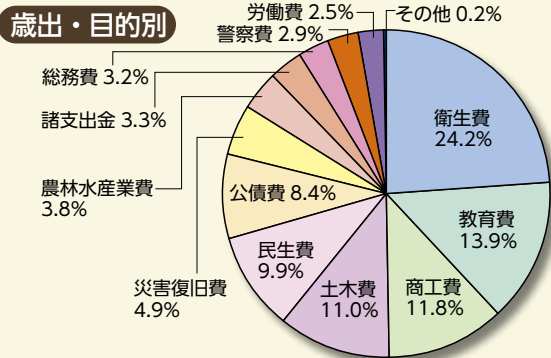
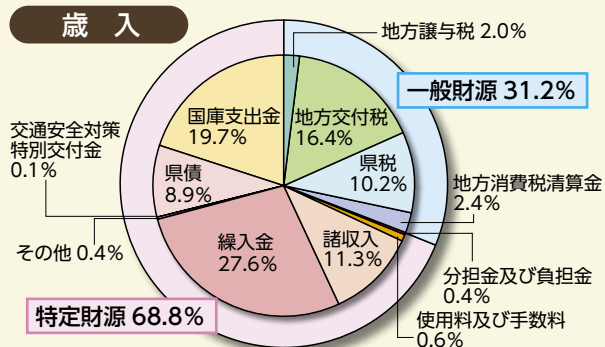
その内訳は、「安心して住み、暮らす」に3971億円。ふるさとへの帰還と安心して生活できる環境の確保を図るための徹底した除染作業や、子どもたちをはじめ、全ての県民の健康を守るための県民健康管理調査を継続して実施します。

次に「ふるさとで働く」は、1554億円。農林水産業の再生や、中小企業の復興支援、再生可能エネルギーの推進、医療機器産業の集積などにより産業を振興し、雇用の確保を図ります。

そして「まちをつくり、人とつながる」は896億円。県内外に避難している人たちがふくしまとつながるきずなづくりの推進や観光の復興を目指す取り組みを進めます。また、防災緑地の整備や海岸線の災害復旧、復興の基盤となり、生活を支える道路整備などのインフラの強化を図ります。



24年度一般会計当初予算の内訳



# 復興へ12の重点プロジェクト

## プロジェクト別の事業費

プロジェクト	内容	事業費
<b>住安</b> <b>心し</b> <b>て暮らす</b> <b>3971億円</b> (除染・健康管理など)	<b>環境回復</b> 除染の推進、農産物などのモニタリング強化、下水汚泥の適切な一時保管など	2812億円
	<b>生活再建支援</b> 生活相談員の配置、住環境再建の支援(二重ローン対策)、復興公営住宅整備促進、雇用確保など	722億円
	★次ページで <b>解説</b> <b>県民の心身の健康を守る</b> 甲状腺検査や内部被ばく検査の継続、学校給食のモニタリング、地域医療体制整備、被災者や子どもの心のケアなど	221億円
	<b>未来を担う子ども・若者育成</b> ふくしまっ子体験活動応援事業の継続、学力向上の推進、将来の産業の担い手育成、子どもの医療費無料化に向けた取り組みなど	216億円
<b>ふるさとで働く</b> <b>1554億円</b> (産業振興・雇用創出など)	<b>農林水産業再生</b> 農産物の詳細な放射性物質測定、生産履歴情報の提供、農地・林地・漁港施設等の災害復旧	326億円
	<b>中小企業等復興</b> 被災中小企業等の事業継続・再開支援、中小企業の資金繰りの支援、企業立地への補助など	1144億円
	<b>再生可能エネルギー推進</b> 防災拠点への再生可能エネルギー導入、太陽光エネルギー発電パネル設置経費補助、木質バイオマス供給施設の整備など	40億円
	<b>医療関連産業集積</b> 先端医療機器の開発等研究の支援、県立医科大学における創薬分野の研究拠点整備など	44億円
<b>人とつながる、まちをつくり、</b> <b>896億円</b> (きずなづくり・復興まちづくりなど)	<b>ふくしま・きずなづくり</b> 民間団体等による復興へ向けた地域づくり活動への補助、避難者等への電子回覧板による情報の配信など	11億円
	<b>ふくしまの観光交流</b> 正確な情報発信や観光復興キャンペーンによる風評被害払拭、国際会議・スポーツ大会の誘致など	7億円
	<b>津波被災地復興まちづくり</b> 防災緑地の整備、河口部における堤防改修、減災機能を備えた道路整備など	580億円
	<b>県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化</b> 交通の「浜通り軸」の復旧・整備、東北中央道相馬～福島間の推進、小名浜港や相馬港の整備など	298億円

# 復興元年



## 「県民の心身の健康を守るプロジェクト」 について、もっと解説します。

福島県は、全国にも誇れるような健康長寿県となるため、県民の心身の健康の保持・増進を図ってまいります。当プロジェクトを推進し、全国に誇れる健康長寿県を目指します。

私たちは、全国に誇れる健康長寿県を目指します。

### 県民の健康意識の向上

#### 県民の健康の保持・増進

- ・**県民健康管理調査**：全県民を対象に調査を行い、県民の健康の保持・増進を図ります。
- ・**新生児聴覚検査の支援**：先天性聴覚障がい早期発見のため、検査費用を助成します。
- ・**母子の健康相談体制の充実・強化**：電話相談窓口を設置するとともに、母乳の放射線濃度検査を希望する場合に費用を助成します。
- ・**学校給食のモニタリング検査**：保護者の不安を減らし、いっそう安心いただくために検査を実施し、保護者を対象に説明会を行います。

#### 地域医療の再構築

- ・**県立医科大学の入学定員増**：定員を大幅に拡大し、医師の確保と県内定着を図ります。
- ・**医療施設等の機能回復**：震災によって被災した医療施設の機能回復を図ります。
- ・**医療人材確保**：医療体制の回復を目指し、医療機関が行う医療人材の確保等を支援します。
- ・**浜通りの医療の復興**：浜通り地方医療復興計画に基づき、医療機関の機能強化と連携の推進を支援します



## 県民の心身の健康を守るプロジェクト

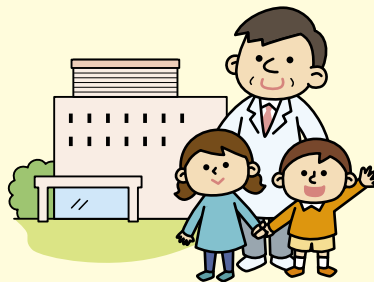
#### 被災者等の心のケア

- ・**被災者の心のケア**：精神保健センター等に心のケアセンターを設置し、専門職を配置して心のケアを支援します。
- ・**子どもの心のケア**：県内外の被災児童及び支援者などに対する専門家の派遣や研修会の開催などにより心のケアを支援します。



#### 最先端医療体制の整備

- ・**県民健康管理拠点基本構想の策定**：将来にわたり県民の健康を守るため、福島県立医科大学における放射線医学に関する最先端診断・治療拠点の創設に係る基本構想を策定します。



ふくしまからはじめよう。



福島県知事 佐藤 雄平

東日本大震災から1年が経ちました。

多くの方々からの御支援と県民の皆さんの努力のおかげで、県内にもようやく復興の芽が出てまいりました。

この芽を大きく育てたい。そして、子どもたちの笑顔あふれる「ふくしま」を取り戻したい。そう願っています。

私たちの眼前にあるのは、決して平坦な道ではありません。しかし、福島県の復興、挑戦を全世界が注目し、応援してくれています。

今こそ、私たち福島県民が心を一つにし、力を合わせるときです。

「ふくしまからはじめよう。」この言葉を胸に、復興への歩みをともに進めてまいります。

# 震 災 の 記 憶



山城雅昭さん(右)と八巻幸一さん

## 避難者が協力しあい、受入先と共に問題解決

南相馬市原町区にお住まいの山城雅昭さんは、震災後5日目の3月16日に伊達市の伊達ふれあいセンターに自主避難しました。センターの施設長である八巻幸一さんは、山城さんが南相馬市の避難所運営マニュアルを持って入所したことに驚いたそうです。このマニュアルは、実は山城さんが発起人となって作成したものでした。

### リーダーを決めて意見をまとめ、即断即決

実際の避難所生活においては、山城さんは避難所の副統括として、このマニュアルを念頭に置きながら、集団生活をいかに円滑にするか現場で対応していきました。避難所では100人ぐらいの大部帯を3室に分けて生活していましたが、各部屋にリーダーを決め、その3人や八巻さんを変えて毎日、朝昼晩の3回ミーティングを行いました。

した。「ここでいろいろな要望をまとめて言ってくれたのが助かりましたね」と八巻さん。また、山城さんは「毎回、八巻さんが施設長として参加してくれて、その場で見たいのは非常に大きかったですね」と語ります。そして避難所内では、必ず全員が何かの役目をもつ仕組みをつくったことで、一人一人が自ら責任をもつことも上手く機能していきました。

### 迷惑をかけないように、毎日感謝の心で生活

さらに山城さんは、「避難所でのみんなの行動の誓い」という行動指針をまとめ、避難者に周知しました。その内容は避難所において、受け入れ先に迷惑をかけないように、こと細かに、集団としての立ち居振る舞い、心の持ちよう、お互いへの敬意など、人として、南相馬市民としての尊厳を保とうとする姿勢と、さらに支援への感謝の思いがにじみ出ています。避難所では毎日いろいろな意見がぶつかりますが、時にはリーダーとして毅然とした態度で事に当たったことで、多くの人がついてきてくれたと山城さんは言います。

これからの南相馬市は除染と雇用の問題が最優先と語る山城さんは今後、南相馬市の復興に向けて尽力したいと語っています。また八巻さんは、山城さんの避難所での取り組みを、ぜひ伊達市でも参考にしていきたいと話してくれました。

募集しています

福島県では、東日本大震災の体験、記録、記憶、教訓などを募集しています。県歴史資料館（電話 024-534-9220）まで情報をお寄せください。いただいた情報については、あらかじめ日程を調整し、記録などの収集に伺います。

## 主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 平日：午前8時30分～午後8時 土日祝日：午前8時30分～午後6時	0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	平日：午前8時30分～午後8時 ※毎週水・金曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施	024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅などへの入居及び被災住宅の改修に関すること	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 平日：午前9時～午後5時	024(521)7698
	県外に避難した人の相談	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 平日：午前8時30分～午後5時15分	024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に関する問い合わせ	県立医科大学 県民健康管理調査事務局 平日：午前9時～午後5時	024(549)5130
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 平日：午前9時～正午、午後1時～午後4時 このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	0120(899)721 フリーダイヤル 024(521)7017





新潟の全国丼サミットで行列

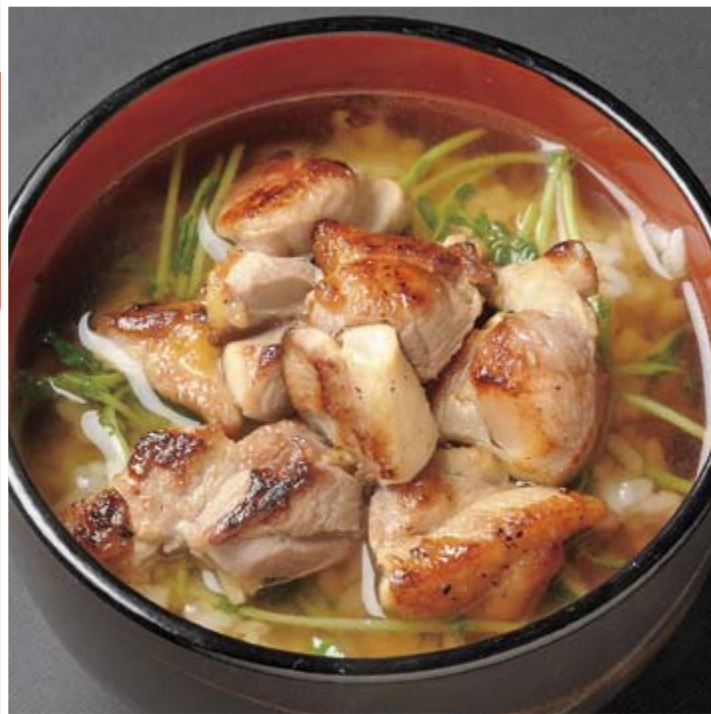
# ふくしま復興丼

ふくしまの風味、うまさが凝縮！



ふくしま復興丼とは…

昨年11月新潟市で開かれた全国丼サミットに、福島県から出場した丼です。「ふくしま復興丼」と命名され、サミットでは行列ができるほどの人気ぶりでした。全国に発信されたふくしまの味の魅力、ぜひ食べてみてください！



ふくしま復興丼

## 1 川俣焼きシャモスープ丼

豊かなコクと風味が人気の「川俣シャモ」は、すでに名物の「親子丼」がありました。新しい名物の「親子丼」を開発するため、試行錯誤を重ねました。川俣シャモの風味と食感を生かすため、シンプルに塩、コショウで味付け、特製のだし汁で仕上げました。

モモ肉の香ばしさとかつお・昆布ベースのだし汁はよく合い、彩りの良い豆腐も食欲をそそります。江戸時代から、食用としてさまざまな調理法が試みられてきた「川俣シャモ」。「川俣町を元気にしたい」という復興への思いを乗せて、また美味しい食が一つ加わりました。



## 自慢の丼で 福島魅力を発信

池田さん ◆ 焦げ目をつけて焼いた川俣シャモは、カリッとした香ばしさとプリッとした柔らかさを楽しめます。さっぱりとした味わいのなかに、にんにくと唐辛子が効いていますよ。

遠藤さん ◆ ご飯とだし汁が川俣シャモのうま味を堪能できます。お茶漬のようにさらさらと食べやすく、お酒にもよく合う一品です。



川俣町農業振興公社 遠藤 勝浩さん  
川俣焼きシャモスープ丼考案者 池田 義寛さん

川俣町農業振興公社 ☎024(566)5860



## ふくしま復興丼② 福島やきとり丼

伊達鳥のモモ肉、皮、つくね肉を使った三種の焼き鳥に加え、イカ人参などをぜひいたくのにせました。まちなかイベントなどで提供しています。

☎ふくしまやきとりの会(鳥安) ☎024(522)9897



## ふくしま復興丼③ 伊達のもつ煮丼

伊達ハーブ鳥のレバー、そで肉をふんだんに使い、特製たれでじっくり煮込みました。肉のコクとうま味が引き出されています。

☎伊達のもつ煮丼事務局(日新殖産) ☎024(577)3112

復興丼は それぞれにおいしさが ギュッと詰まっています



皆さんの思いを受け止めて舞台に立つ。  
それでまた元気を届けられたらうれしい。

Message from

女優  
白羽ゆりさん  
(福島市出身)



## 1 一人としてみんなと一緒に頑張りたい

福島県の観光大使として、震災前から観光PRのお手伝いをしてきましたが、震災直後は地元福島市に帰って炊き出しのボランティアに参加しておにぎりを握ったりしていました。芸人としてではなく、一人としてみんなと一緒に頑張りたい、という気持ちからでした。震災後はボランティアや復興イベントなどで福島に20回以上来ています。イベントでは、ふくしまの皆さんの思い、気持ちを一緒に伝えていきたいという気持ちで取り組んでいます。

## 1 学生時代、合唱に熱中した経験が宝塚で生きた

小・中学校では部活の合唱に熱中していました。部活一筋の女の子でした。そういう一つのものに集中してやるという感覚を養ったのは、宝塚時代にすごく役に立ちましたね。

私が宝塚に入ってから、福島での宝塚の認知度が上

がって、県民の皆さんからもお手紙をいただきました。先日、いわきなどで元宝塚トップスターによるチャリティーコンサートを行いました。そういった場で皆さんへ思いをお返しできるのはうれしいですね。

## 1 自分が挑戦し続けることが、メッセージになればうれしい

震災後、ファンクラブの会員さんと会津若松市へバスツアーをしました。七日町通りを散策したり、わっぱ飯を食べたり、お酒を買ったり、赤べこの絵付け体験をしたりしました。ファンクラブの皆さんが、震災前と同じように参加してくれたのがうれしかったですね。これからも続けていきたいと思います。

ずっといろんなことに挑戦し続けて、テレビや舞台上で元気な姿を見てもらうことで、何か福島のみなさんの力になればと思っています。これからも、皆さんに元気を届けたいという気持ちを励みに頑張ります。頑張っている姿がメッセージになればうれしいです。

## 新コーナー!

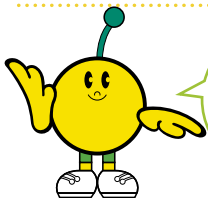
次号からスタートします

# キビタン の わかる県政

僕がみんなの  
疑問を解決するよ!



県の予算のココが知りたい!  
この事業はどうなっているの?  
など、皆さんが持っている県政への疑問を、僕に教えてね。  
皆さんの疑問を僕が取材し、解説します。



みんな、  
どんどん  
送ってね。

## 新スローガン決定

ふくしまからはじめよう。

「3.11 福島復興の誓い 2012」のシンポジウムで知事が発表。  
「がんばろう ふくしま!」にかわる新スローガン。



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

総数3,300票以上もの県民の皆さんからの投票で決定しました。

一人一人が復興に向かって歩みはじめよう、そして、再生可能エネルギーの推進など「ふくしまから新しい流れを創っていこう」という未来への意志を込めたスローガンです。

つくろう 新しい ふくしまを	1,258 票
ふくしまから はじめよう。	1,260 票 ★
あたらしいふくしまが 走りだす	800 票

大接戦での決定となりました。投票いただいた皆さん、ありがとうございました。

# ふくしまの 今

## 川内村の特産 イワナを守りたい

今年1月に「戻れる人から戻ろう」と帰村宣言した川内村。全村避難の最中も村の特産品である養殖イワナの命を絶やさないために、尽力してきた人がいました。

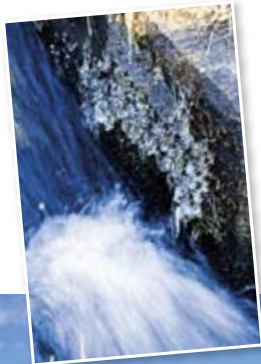
豊かな森に囲まれた源流の里・川内村には、以前から天然のイワナが数多く生息していました。「村で何か特産品を作ろう」ということで、イワナを養殖することが決まったのが平成5年。東京からUターンしてきた私が、その事業に採用され県の内水面水産試験場で一から勉強して設備を整え、稚魚を育ててきたんです」と話すのは、いわなの郷の渡邊秀朗さんです。

例年11月に採卵、受精した稚魚を養殖池に放すのが3月頃。ふ化直後は、魚の身体に栄養がつまった袋（臍嚢さいのう）がついているのでエサは必要ありません。池に放すのは稚魚が自らエサを食べ始める頃です。

渡邊さんによると、「去年は、まだ身体に栄養を蓄えられず、少しずつ何度もエサやりをしなくてはならない時期」に、原発事故に見舞われてしまいました。

困難を乗り越えた新しい命。  
今年のことさら成長がうれしい。

いわなの郷 ● 渡邊秀朗さん（川内村）



（右）寒風の吹き付ける中でイワナの世話を  
する渡邊さん。網の中のイワナは採卵用の親魚。

（上）川の上流の冷水域を好むイワナ。養殖場には村内の清流を引き込んでいます。

（左）現在は、水からもイワナからも放射性物質は検出されていません。





# 絆つないで

避難生活を余儀なくされている皆さんが、さまざまな形でお互いの絆と交流を深める場が広がっています。今回は、郡山市の仮設住宅の一角で活動している「生活復興支援おだがいさまセンター」を紹介します。

## 生活復興支援おだがいさまセンター [富岡町]



### 富岡にしかできないことを ここを拠点に広げていきたい

郡山市富田町にある富岡町の仮設住宅敷地内の施設は、高齢者などのサポート拠点として2月15日に開所したばかり。木の香りが漂う室内には、この日開かれていた編み物教室に参加された皆さんの、にぎやかな声が響いていました。

同センターは、ビッグパレットふくしまに避難所が設置された際に立ち上げたボランティアセンターが始まりで、避難所の閉鎖以降は活動の拠点となる場がなく、県や町に要望して実現しました。「富岡町だけでなく、他の町村の方や郡山市の方々にも利用していただいて、地域交流の場となれば」と吉田恵子さん。

3月11日には、臨時災害FM(76.7MHz)も開局しました。「皆さんが欲しいがっているのは、だれがどこに避難をして元気であるかといった情報です。このFMを通じて、そうした情報も発信していければ」と吉田さんは話します。町が各世帯にタブレット型パソコンを貸出することも決まり、全国で町の情報を聴くことができるので、情報と一緒に元気や笑顔も届けたいと、新たな活動に期待を込めています。



▲毎週発行している情報誌

TEL 024(935)3332  
 ブログ <http://odagaisama.com/>  
 ツイッター <http://twitter.com/odagaisama>



▲生活復興支援おだがいさまセンター  
スタッフの皆さん



▲この日初めて参加したという人も、  
話に花を咲かせていました

渡邊さん自身も、郡山市を経て家族と一緒に千葉県へ避難。その間もイワナが気になって何度か川内に戻ったといいます。「5月からは、管理人室に寝泊まりして世話をしています。うちはまだ子どもが小さいので、家族と魚のどっちが大事な？と妻に言われてしまってたね」と渡邊さんは苦笑い。

「元気に命をつないでくれた  
稚魚の姿に励まされて」

原発事故後、イワナは定期的にモニタリングを続けていますが、ごく初期に微量の放射性物質が検出されただけで、現在は全く検出されていません。冬場の冷たい風に当たってつくる名物『岩魚の寒風干し』の作業も少しずつ再開しました。

「養殖も寒風干しも試行錯誤の連続でしたが、手塩にかけたイワナをおいしいと食べてくれる人がいるから続けてくることができました。何年も頑張ってきたことを、これで終わらせるわけにはいかないんです」。そんな渡邊さんの思いを受け、今年に入ってふ化した稚魚たちも、元気に命をつないでいました。



(左) 受精卵は箱の中でふ化の時を待ちます。かえったばかりの稚魚を見つけ、うれしそうな表情の渡邊さん。





いわき市

いわき市の震災記録展



昨年開催した「東日本大震災いわき市写真展」

いわき市の震災被害の状況や、復旧・復興に向けた取り組みなどを紹介する「東日本大震災から一年いわき市の記録展」をいわき・ら・ら・ミュウ二階市民ギャラリーにて、5月30日(水)まで開催しています。ぜひご来場ください。  
※4月11日(水)、5月9日(水)のみ休館

いわき市広報広聴課

☎0246(2)7402

伊達市

5百年の伝統を誇る箱崎の獅子舞



天文年間から伊達市箱崎地区に伝わる「箱崎の獅子舞」。4月29日の愛宕神社例大祭で毎年奉納されています。風流な笛の音に乗って三匹の獅子が舞い、白髪翁とひょうこが登場する勇ましく華やかな踊りで、県の重要無形民俗文化財に指定されています。愛宕山頂からは果樹の花咲く信達平野が一望できますので、ぜひお出かけください。

福蔵寺

☎024(588)4666

小野町

高柴山山開き

緑豊かな登山道を抜けると、山頂には赤いじゅうたんのように咲き誇る約3万株のヤマツツジが広がります。

5月27日(日)には山開きを開催。当日参加された方には先着で記念品をプレゼントします。心と体のリフレッシュにぜひお越しください。



小野町観光協会

☎0247(72)6638

鮫川村

鹿角平クロカンコースオープン

鹿角平クロスカントリーコースは、標高700mの鹿角平観光牧場内に整備され、広大な緑地景観を楽しみながら競技力向上と健康づくりが行えます。走路は1周2500m。木製チップが敷かれ利用者の膝への負担が軽減できるコースです。  
4月29日(予定)にはオープンセレモニーが催されます。



鮫川村企画調整課

☎0247(49)3115



県内の主なイベント

4月

二本松市 霞ヶ城公園桜まつり

4月10日(火)～5月6日(日)／霞ヶ城公園  
 園 二本松観光協会 0243(55)5122

国見町 内谷春日神社 太々神楽

4月14日(土)／内谷春日神社神楽殿  
 園 内谷太々神楽保存会(佐藤会長) 024(585)4085

泉崎村 桜ウオーラリー

4月中旬 ※要問い合わせ／泉崎村さつき公園  
 園 泉崎村産業振興課 0248(53)2430

郡山市 手塚治虫展

4月14日(土)～6月3日(日)／郡山市立美術館  
 園 郡山市立美術館 024(956)2200

棚倉町 十万石棚倉城まつり

4月21日(土)～22日(日)／棚倉城跡内  
 園 十万石棚倉城まつり実行委員会 0247(33)3161

田村市 安倍文殊菩薩堂例大祭 稚児行列

4月29日(祝)／安倍文殊菩薩堂(田村市船引町)  
 園 田村市商工観光課 0247(81)2136

5月

昭和村 博士山水芭蕉まつり

5月4日(祝)／水芭蕉としらかばの杜  
 園 昭和村観光協会 0241(57)3100

檜枝岐村 愛宕神祭礼奉納歌舞伎

5月12日(土)午後6時開場 午後7時開演予定／檜枝岐の舞台  
 園 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241(75)2432

西会津町 西会津ふるさとなつかしCarショー

5月27日(日)／さゆり公園  
 園 ㈱西会津町振興公社 0241(45)2025

下郷町 小野岳山開き

5月27日(日)／小野岳大内登山口(式典)  
 園 下郷町商工観光係 0241(69)1144

その他の行事はホームページ [福島県内の主な行事](#) [検索](#)

**福島空港** Fukushima Airport

※運航日、発着時刻は予告なしに変更される場合があります。

<b>福島→札幌(新千歳)→福島</b>		<b>特典 福島空港ファンクラブ</b> <b>満載 会員募集!</b> 入会費 年会費 無料 園 福島空港ファンクラブ事務局 0246(35)1781 <a href="#">福島空港</a> <a href="#">検索</a>
11:30▶12:50	09:40▶11:00	
19:20▶20:40	17:30▶18:50	
<b>福島→大阪(伊丹)→福島</b>		
09:15▶10:25	07:40▶08:45	① 3月25日～4月1日、4月28日～5月26日運航 ② 4月2日～27日、5月27日～31日運航
① 10:15▶11:25	① 08:40▶09:45	
② 12:30▶13:40	② 10:55▶12:00	
① 13:30▶14:40	① 11:55▶13:00	
15:50▶17:00	14:10▶15:15	
19:05▶20:15	17:30▶18:35	

湯川村公民館



湯川村

勝常念佛踊り

念佛を唱えながら、あるいはそれに合わせて踊る念佛踊りは神がかりと同じように、夢中の状態になって踊り狂うのが本来の姿であったといえます。毎年4月28日の祭禮に勝常寺境内で奉納されています。平成15年に県無形重要文化財に指定された勝常念佛踊りを見学に来ませんか。

0241(27)4107

尾瀬街道みしま宿



三島町

三島町に  
新たなビューポイント登場!

鉄道ファンの間では隠れた撮影ポイントとなっていたこの場所。軽い山歩きを楽しめる遊歩道を整備し、この春、雪解けとともにオープンします!只見川と「只見川第二鉄橋」、新緑と山桜の山々を見にお出かけください。道の駅「尾瀬街道みしま宿」に駐車し、15分ほど歩くと頂上です。

0241(48)5677

**募集**  
ふくしま復興県民債

県民の皆さんに県の復興へ向けた取り組みに参加していただくため、「ふくしま復興県民債」を発行します。

**対象** 県内在住・勤務・本県出身の個人または県内に営業拠点がある法人・団体など

**申込限度額** 10万円～2千万円(10万円単位)

**発行総額** 40億円

**償還年限** 5年

**購入方法** 東邦銀行、福島銀行、大東銀行、県内8信用金庫の本・支店で購入できます(発行総額を超えた時点で終了)。詳しくは、取扱金融機関にお問い合わせください。

**募集期間** 5月18日(金)～25日(金)

**利率** 5月17日(木)午後12時に決定予定

**発行日** 5月30日(水)

**問** 県庁財政課

☎024(521)7029

**案内**  
平成24年度自動車税の定期課税

自動車税は、毎年4月1日現在の所有者(割賦販売の場合は使用者)に課税される県の税金です。

平成23年度は、東日本大震災の影響により課税時期を延期しましたが、平成24年度は、5月31日(木)を納期限として原子力災害被災市町村を含む全県

域を対象に課税を実施します。

**問** 最寄りの県地方振興局県税部または県庁税務課

☎024(521)7070

**お願い**  
県民健康管理調査

県では、長期にわたり県民の健康を見守るため、すべての県民を対象とした「県民健康管理調査」を実施しています。

「基本調査」(問診票)は、皆さんの行動記録を基に、放射線による外部被ばく線量の推計評価を行い、その結果を一人一人にお知らせするとともに、将来にわたる皆さんの健康管理の基礎的な資料となるものです。

まだ返送していない人は、記入の上返送をお願いします。

行動の記憶があいまいなところは「不明」と記入して返送いただければ、後日、事務局からご連絡します。

なお記入方法などは、県のホームページで動画により案内しています。

**問** 問診票の送付・紛失・記載方法に関する問い合わせ…県立医科大学県民健康管理調査事務局

☎024(549)5130

福島県 県民健康管理調査

検索

**募集**  
平成24年度県奨学生

平成24年度の福島県奨学生を募集します。

**応募資格** 本県出身で高等学校・専修学校の高等課程・大学・短期大学・高等専門学校に在学している生徒・学生

**応募方法** 在学する学校にある奨学生願書に必要書類を添えて、学校に応募してください。

**応募期限** 6月の各学校の指定する日

**問** 在学している学校

または 県教育庁高校教育課

☎024(521)7775

福島県奨学金案内

検索

**お願い**  
振り込め詐欺などの被害防止

依然として振り込め詐欺などの被害が発生しています。

●電話番号が変わった

●風邪をひいて声が変わった

●必ずもうかる

●はつきりしない請求

●「詐欺の手口」です。

このような場合は、「お金を振り込む前に、必ず家族や警察に相談」してください。

**問** 県警察本部生活安全企画課

☎024(522)2151

水を育む 森林を守る  
森林環境税の  
取り組み

森林環境の保全と森林を育てる意識の醸成を図るため、森林環境税を活用し、森林整備や小中学校における森林環境学習への支援などに取り組んでいます。

平成23年度からは、水源区域に加えて、災害を防止するような森林の整備もできるよう、対象区域を拡大しました。

また、全国初めての取り組みである森林環境交付金では、市町村の独自性や創意工夫による森林づくりとして、身近な里山の整備や県産材を活用した木製テーブルの設置、木質バイオマスのPRとしてペレットストーブの購入なども行われているところです。

これからも、震災からの復興・復興に向けた県産材の利活用促進や、除染にも役立つような森林の整備を着実に進めていきます。

森林資源を活用した取り組みを行いたいなど、森林環境税に関してのご意見をお寄せください。

問 県庁森林計画課

☎024(521)7425

福島県森林環境税

検索



# 施設インフォメーション

## 福島県立博物館

会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

福島県立博物館

検索

### 小さなもの集まれ! —雑道具から古民家模型まで—

千点を超える極小雑道具、川内コレクションの初公開です。  
熱中人夢想庵の古民家模型 66 点の一挙公開です。

- 開催期間:5月13日(日)まで
- 観覧料:一般・大学生 500(400)円、高校生 300(240)円、小・中学生 200(160)円 ※( )は20名以上の団体料金
- 休館日:毎週月曜日(ただし4月30日は開館)



郡山の古民家の模型



犬籠(いぬばこ)



広蓋(ひろぶた)・ギヤマン

## 環境水族館

### アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町 50

☎ 0246(73)2525

### GWイベント

- 開催期間:5月3日(祝)~5月6日(日)
- 入館料:一般・大学生 1,600円、高校生・小中学生 800円、未就学児無料
- 年中無休



蛇の目ビーチ

この期間中は、開館時間を延長して夜7時まで営業します。時間いっぱいまでゆっくり水族館をお楽しみください。

アクアマリンふくしま

検索

## 福島県立美術館

福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

福島県立美術館

検索

### 五味太郎作品展「絵本の時間」

五味太郎の絵本は幼児から大人まで幅広く親しまれており、国際的にも評価の高い作家です。代表作『みんな うんち』『ももたろう』などの原画約 180 点を展示。映像や絵本作りのプロセスもご紹介します。



『ももたろう』 ©Gomi,Taro 2007

- 開催期間:4月14日(土)~5月20日(日) ●観覧料:一般・大学生 700(560)円、高校生 500(400)円、小・中学生 300(240)円、未就学児無料 ※( )は20名以上の団体料金
- 休館日:毎週月曜日(ただし4月30日は開館)、5月1日(火) ※4月6日(金)まで臨時休館します。

## 福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

### 指定文化財展「ふくしまの重要文化財Ⅲ 三島町 荒屋敷遺跡」—只見川流域の縄文の匠たち—

荒屋敷遺跡は、縄文時代終末から弥生時代初頭にかけての低湿地遺跡として全国的に知られています。今回は、漆を利用した道具や各種の木製品・繊維製品を中心に展示し、森の恵みを活用した道具から当時の生活と技術について紹介します。



漆を塗った櫛

- 開催期間:5月13日(日)まで ●観覧料:無料
- 休館日:毎週月曜日 なお、GW 期間中は要確認。

まほろん

検索

## コラッセふくしま

福島市三河南町 ☎ 024(525)4098

コラッセふくしま

検索

4月16日(月)~22日(日)	第7回 草木染と紬織作品展
4月21日(土)~22日(日)	華道家元池坊福島支部 70 周年記念花展
4月26日(木)~5月2日(水)	福島県警察活動写真展 (東日本大震災関連写真展)
5月3日(祝)~6日(日)	2012 ふくしま洋蘭愛好会蘭展
5月10日(木)~13日(日)	写楽ゆきうさぎ写真展

## 福島県文化センター

福島市春日町 ☎ 024(534)9191

休館中 (9月29日(土)再オープン予定)

## ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目 ☎ 024(947)8010

休館中



## 広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧ください ▶

広報ステーション

検索

### ◎県政新聞広報

#### 県からのお知らせ

【福島民報・福島民友】  
毎月第2・第4土曜日  
の翌日

### ◎県政テレビ番組

#### うつくしま情報局

~ふくしまから はじめよう。~

【福島テレビ (FTV)】  
毎週日曜日 9:45 ~ 10:00

#### ウィークリー県政トピックス

【福島放送 (KFB)】  
毎週日曜日 17:25 ~ 17:30

#### 県政 TV

~ふくしまから はじめよう。~

【福島中央テレビ (FCT)】  
毎週土曜日 11:40 ~ 11:55

#### ウィークリー県政ナビ

【テレビユー福島 (TUF)】  
毎週日曜日 11:40 ~ 11:45

### ◎県政ラジオ番組

#### 知事室からこんにちは

(うつくしまふるさとだより)

【ラジオ福島 (rfc)】  
毎月最終火曜 12:30 ~ 12:45

#### ふくしま EVENING BREAK

【ふくしま FM】  
毎週月~金曜 17:30 ~ 17:35



## 復興の願いを込めて

# 福島県オリジナル「天のつぶ(会津産)」が当たる!

**問題** 3月に発表された「がんばろう 福島!」に替わる復興の新しいスローガンは?

ふくしまから ○○○○○。

○の中に文字を入れてください。(ヒントはP9)

- 応募方法／はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「天のつぶ(会津産)」を差し上げます。

- 締め切り／4月30日(月)当日消印有効  
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

広報ステーション

検索

電子メール yume@pref.fukushima.jp

ファクス 024(521)7901



▲天のつぶ(精米2kg×2袋)

30名様に  
プレゼント

9608670

県庁  
広報課  
「ゆめクイズ」係

クイズの答え

ふくしまから  
○○○○○。

興味を持った記事  
地元で誇りにしている宝  
本誌へのご意見・ご感想  
県政への疑問・質問など  
住所 氏名 年齢  
職業 電話番号

※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、商品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。

正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

次回 (No.232) は6月1日号となります。

■「うつくしま ゆめだより」は新スローガンにちなんで、今回から「ふくしまから はじめよう。ゆめだより」としてリニューアルしました。年6回(偶数月)皆さんのもとへお届けします。